

# 4度目で **可決**

## 小坪議員・鯉淵議員・杉山議員から 一般会計予算に対する修正動議提出

町長から提案された平成26年度城里町一般会計予算について、3名の議員から修正案が提出され、審議の結果、修正案を賛成多数で可決しました。また、修正部分を除く一般会計予算の原案についても賛成多数で可決。4月定例会・5月臨時会・6月定例会で3度にわたり否決した当初予算を、今回4度目で可決しました。

提出予算額	修正額	修正後の予算額	対4月定例会比
114億9,400万円	△1億5,000万円	<b>113億4,400万円</b>	△2億9,600万円

### 修正の内容

**庁舎備品購入費** 1億1,491万1千円の減額

1億1,491万2千円 ⇒ 1千円

**ホールの湯指定管理料**

指定管理料 4,500万円 ⇒ 4,000万円

修繕料 748万8千円 ⇒ 1,248万8千円

**桂中学校体育館改築工事実施設計委託**  
3,489万5千円の減額

3,489万6千円 ⇒ 1千円

**町観光協会補助** 20万円の減額

960万円 ⇒ 940万円

**地方債償還金利子** 6千円の増額

1億5,143万3千円 ⇒ 1億5,143万9千円

## 第3回 臨時会

第3回臨時会は、一部の議員から町長に臨時会招集請求をし、これを受けた町長は臨時会を7月23日に招集しました。

3度にわたり否決した平成26年度全会計予算7件及び6月30日付で専決処分した平成26年度全会計暫定補正予算7件を審議し、平成26年度一般会計予算案については修正案が議員から提出され、修正案を可決、その他の議案については原案のとおり承認・可決しました。

また、阿久津町長に対する不信任決議案が議員から提出されましたが、四分の三以上の賛成を得られず否決しました。しかし、町長は閉会時のあいさつで、辞意を表明しました。

# 平成26年度 一般会計予算 減額修正案を提出し

## 修正案に対する 主な質疑

議員から、修正案の提出者の杉山清議員に対し、質疑をしました。

### 阿久津 則男 議員

問 3度予算案が否決されたが、なぜもっと早く修正案を提出しなかったのか。

答 執行部からの歩み寄りがなく、総務民生常任委員会・協議会へ町長が出席しなかったのが大きな要因。再三協議をし、話し合いの中でできることならばという思いでやってきたのは事実である。

問 町の行政が停滞していることに対して、責任は感じているのか。

答 大変感じている。

### 桐原 健一 議員

問 町観光協会補助について。那珂川鮎釣り茨城大会として毎年実施し、5万円を社会福祉協議会へ寄付している。昨年は鮎が少なく、福祉事業として開催した。なぜ削減するのか。

答 昨年実施できなかったことも踏まえ、原点に戻ってもらう一度考えて頂ければと削減した。

### 小林 祥宏 議員

問 桂中学校体育館改築工

事実施設計委託について。平成25年度の当初予算に基本設計委託が計上され、可決している。今年度は実施設計委託が計上されたが、削減した理由は。答 現場も見ており大変悩んだが、議員と執行部がさらに協議をするために、

科目設定の1千円とした。一度予算を通したが、不審な点があれば原点に帰ることが1番大事なことである。

### 園部 一 議員

問 予算修正は一般会計のみである。なぜ特別会計まで否決したのか。

答 特別会計については、一般会計からの繰入金があり連動している。また、合併後毎年、税金の滞納問題を練ってきており、滞納のある予算については、否決した。

### 根本 正典 議員

問 庁舎備品購入費が科目設定の1千円となつているが、ほとんど古い備品を使用するということがあるのか。

答 委員会で明細書の提出

を求めたが、提出されていない。職員用の机やイスが減額になったが、議員控室や議場も七会支所に置いてあるものを再利用するなど、9月定例会に向けて協議をし、歩み寄りをしようということである。

### 三村 孝信 議員

問 町長に尋ねる。歩み寄りがなかったというが、修正案のような具体的な数字が内々であったのか。答 (町長) 記憶はないが、各課長を通してあったのではないかと思う。

問 一般会計予算案を否決した時点で、この数字を持っていたのか。

答 今まで協議をし、いろいろ出た中で、総合的にまとめた修正案である。

# 第3回臨時会で決まったこと

## 平成26年度一般会計・特別会計暫定補正予算

特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことから、町長は平成26年6月30日付で専決処分により、7月分(1ヶ月分)最小限度必要とされる経費を追加補正しました。

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		6億1,352万9千円	33億9,495万1千円
国保	事業勘定	2億632万4千円	8億5,363万4千円
	施設勘定	1,939万6千円	8,487万7千円
後期高齢者医療		1,784万4千円	6,645万2千円
介護	保険事業勘定	1億6,040万9千円	5億9,799万円
	介護サービス事業勘定	34万7千円	138万9千円
公共下水道事業		2,415万3千円	6,284万8千円
農業集落排水事業		810万6千円	2,729万4千円
水道	収益的収入及び支出	3,685万7千円	1億5,435万6千円
	資本的支出	4,080万円	4,080万円

## 平成26年度特別会計予算

会計名		予算額	前年度当初比
国保	事業勘定	25億5,930万6千円	4.3%増
	施設勘定	2億4,313万2千円	0.8%減
後期高齢者医療		1億9,546万円	9.6%減
介護	保険事業勘定	17億3,740万8千円	2.8%増
	介護サービス事業勘定	417万2千円	2.6%増
公共下水道事業		11億4,924万4千円	1.2%増
農業集落排水事業		2億7,926万2千円	0.2%増
水道	収益的収入及び支出	7億7,991万4千円	16.0%増
	資本的収入	3億9,967万4千円	13.9%減
	資本的支出	6億3,389万円	8.3%減